

ディー・ウイング
VOL.2

D-wing

質の高いケア環境を目指す介護情報誌

●CARE VIEW

苦情処理機関の施設内構築



大人用紙おむつの構造とモレの原因

当社に寄せられる大人用紙おむつに関するご相談で、最も多いのが「紙おむつのあて方」に関する内容です。大人用の場合は子供と違って体型が人によつて大きく異なったり、拘縮や側臥位など体の状態によつてあて方を工夫する必要が生じたりします。そこで排泄ケア研究室のコーナーでは、まずは大人用紙おむつの構造を説明して、「なぜモレが生じるのか」をご理解いただき、そして次回、紙おむつの上手なあて方を解説していきます。

大人用紙おむつの構造

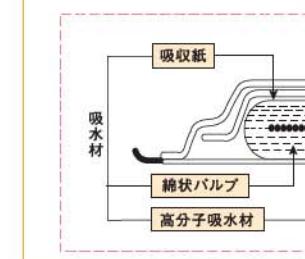
大人用紙おむつは、尿や便のモレ防止、排尿後の快適さ、動きやすさ、あてやすさなどを重視した構造になつています。タイプや各社それぞれの商品によって違いはありますが、代表的な紙おむつの構造と役割は次の通りです。

表面材：直接肌に接する部分です。尿を素早く吸収材に浸透させ、表面材自体はぬれにくくサラッとした状態を保つて肌をぬらさないように配慮されています。着用中の快適性を向上させる役割を担っています。

吸水材：尿を吸収する部分です。

防水材：紙おむつの外側を覆うシートで、尿がおむつの外へ漏れ出して布団やシーツを汚してしまふのを防ぎます。水分を通さないようポリエチレンフィルムが使われるが一般的ですが、最近ではムレ防止のため水分を通して通気性のある材質が使われて使うたものがほとんどです。

また当社では新抗菌ボリマーを採用することで、雑菌の繁殖を抑えておいの発生を防ぐ工夫をしています。



モレが生じやすい場所

吸収体と尿道口の間にすき間ができるため足周りからモレる。大人用紙おむつは、尿や便のモレ防止、排尿後の快適さ、動きやすさ、あてやすさなどを重視した構造になつています。タイプや各社それぞれの商品によって違いはありますが、代表的な紙おむつの構造と役割は次の通りです。

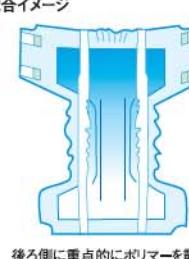
これがほとんどのため、尿は後ろ(背中側)へと流れていきます。その間に吸収しきれば問題はないのですが、吸収スピードが追いつかないとき、背中側からモレてしまうのです。

このように紙おむつは尿を吸収・保水して後戻りさせない構造を持っていますが、どうしてもモレが発生しやすい場所があります。そのひとつが足周りです。白十字では紙おむつをあてる際に、尿道口に密着させるようにしてることをおすすめしていますが、うまく密着させられないときは、大ももをつたつて流れ出します。

紙おむつのモレ防止機能

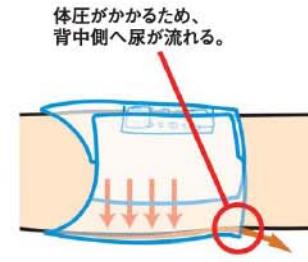
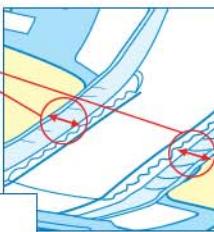
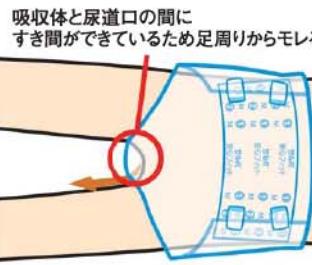
モレを防ぐために、紙おむつには様々な工夫がされています。足周りのモレを防ぐのは立体ギヤーアーです。尿が外にモレるのを防ぐ堤防の役目を果たします。もちろん、先にもお話ししたように尿道口と紙おむつが密着していることが必要ですし、ギヤーアーがしっかりと立ついることも重要です。ギヤーアーが外に折れてしまっていると堤防の役目を果たさず、尿はギヤーアーを越えて漏れてしまいます。

また、尿が集中するおむつ後方に、ボリマーを重点的に散布したものもあります。一般に言われる吸収量はおむつ全体での吸収量ですが、このように尿が集中する場所の吸収力が高いものを選ぶことで、一層効率的にモレを防ぐことができるでしょう。

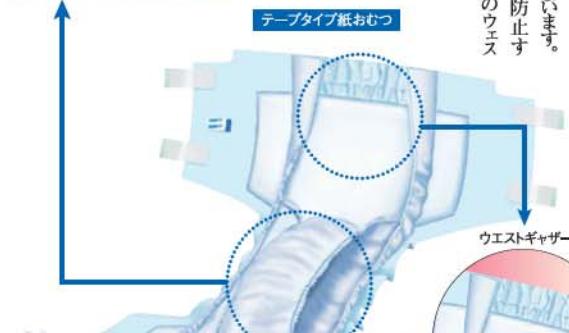
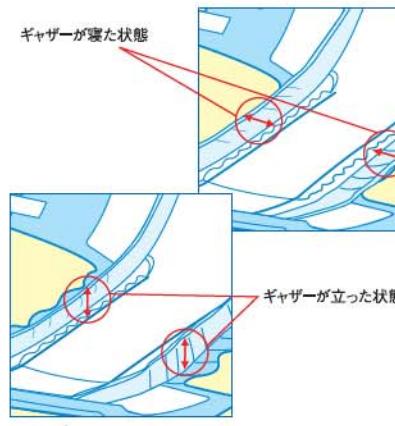


全体に均一にポリマーを散布

後ろ側に重点的にポリマーを散布



また、尿道口と紙おむつが密着していても、一度に大量の尿が排出された場合は、全てを吸収する前に吸収体表面を流れいくことがあります。特にテープタイプ紙おむつは寝た状態で使われるこ



いかがでしょう。紙おむつの構造とモレ発生のメカニズムについてご理解いただけましたか。ただ、紙おむつのモレ防止機能を最大限に發揮させるためには、あて方にも工夫が必要です。「モレないためのあて方」を次回、詳しくご説明いたします。

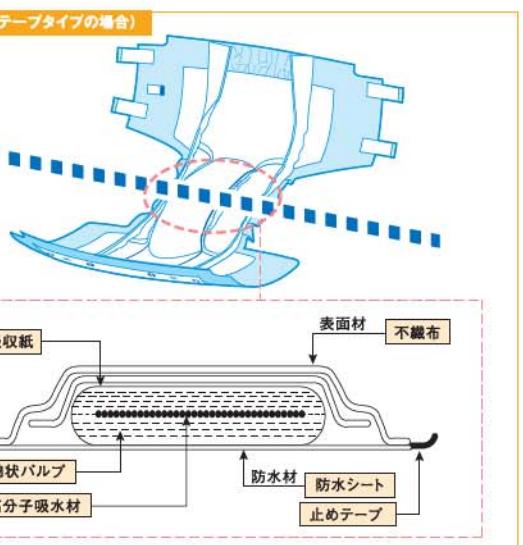
また、当社セールスにご相談いただければ、個別にご相談に伺うことも可能です。そのようなご要望がありましたら、お気軽にお声をかけて下さい。

■お問い合わせせ先
白十字株式会社 ハルスケア営業部
TEL 03-3987-6117

す。一度吸収すると後戻りさせない工夫がされています。吸収紙、綿状バルブ、高分子吸水材(高吸収ボリマー)などの組み合わせで構成されています。なかでも高分子吸水材は自重の50~100倍もの尿を吸収して保水することでき、後戻りがなくサラッとした肌ざわりを保つことができます。

また当社では新抗菌ボリマーを採用することで、雑菌の繁殖を抑えておいの発生を防ぐ工夫をしています。

防水材：紙おむつの外側を覆うシートで、尿がおむつの外へ漏れ出して布団やシーツを汚してしまふのを防ぎます。水分を通さないようポリエチレンフィルムが使われるが一般的ですが、最近ではムレ防止のため水分を通して通気性のある材質が使われているものもあります。



「Dケアセミナー」を各地で開催――

選ばれる施設への力。施設間の情報共有が、

「質の高い介護環境の提供」をキーワードに開催された「Dケアセミナー」も各地でご好評をいただき、すでに四回を数えるまでに至りました。そこで今回のDケアセミナーでは第二回から第四回のDケアセミナーの様子をお届けし、施設・病院の皆様が共通してお感じになられている悩みについて考えていきます。

施設運営と職員の資質

田中莊司先生



2001年10月30日、八王子駅前のクリエイトホールにて多摩エリックDケアセミナーを、続く11月13日には横浜のフンドマーク内、フォーラムよこはまにて横浜エリックDケアセミナーを開催いたしました。どちらも講演に日本大学文理学部教授の田中莊司先生をお招きし、「施設運営と職員の資質」をテーマにお話しいただきました。田中先生は元厚生省において老人福祉専門官を経験され介護保険制度の整備に尽力されたなど、豊富な経験をお持ちです。その実体験をもとにして「選ばれる施設・病院」であり続けるために「職員の資質」がいかに重要かについて、海外の事例などを交えながらの密度の高い講演でした。

海外では「施設を選ぶ」考え方方がわが国よりも進んでいます。入所する前には「エックシート」を使って、厳しい目で判断を下します。以後わが国も必ず、同様に厳しい目で選ばれるようになるでしょう。職員ひとりひとりの意識の向上と、今号の特集記事にもあるように苦情処理対応などの仕組みづくりが急がれます。

ケースカンファレンスによる個別対応

鶴谷病院様



田中先生の講演に統いては、群馬県の鶴谷病院様による「排泄ケア事例研究発表」です。鶴谷病院様ではモニター調査などのご協力をお願いする中で「サルバ安心フィット」の開発にあたって様々な意見をいただきなど、

発表のポイント

モレ発生の減少

排泄サイクルの最適化

・コストの削減

布おむつから紙おむつへの切り替え

白鶴ホーム様

2002年2月27日、四谷の主婦会館プラザエフにおいて東京23区Dケアセミナーを開催いたしました。埼玉県岩槻市の特別養護老人ホーム白鶴ホーム様、東京都葛飾区の堀切中央病院様による排泄ケア事例研究発表をメインにしたセミナーです。

白鶴ホーム様の発表テーマは「布おむつから紙おむつへの切り替え」でした。埼玉県は長く続いた布おむつの助成制度の影響で布



まさに施設・病院様との情報共有というDケアシステムの理念を実践するきっかけとなつた事例でした。

鶴谷病院様では「ケースカン



アレンス」という患者さん個別の症例をテーマにした意見交換の場を設け、紙おむつの交換パターンを幾度となく変えながら、排泄ケアの最適化を行っておられます。

おむつを使われる施設様が非常に多い地域です。白鶴ホーム様も同様に1999年の開設以来、布おむつを使われていました。ただ当時より、カブレの問題など排泄環境を改善したいという意識があつたため、当社からのおむつ診断の結果を踏まえた商品提案とて方のアドバイスで、作業効率・排泄環境の向上が見られたとのことでした。コストについても、助成制度があった頃のコストと同等に抑えることができ、作業性などを含めたトータルのコストダウンにつながり、現場スタッフ事務スタッフ双方にとってメリットのある結果になりました。

白鶴ホーム様の発表テーマは「布おむつから紙おむつへの切り替え」でした。埼玉県は長く続いた布おむつの助成制度の影響で布

発表のポイント

モレ、カブレ、においの減少

(排泄環境の改善)

・トータルコストのダウン

・職員の意識向上



ボトルタイプ200ml
希望小売価格2,500円

お肌を刺激から守る、安心で優しい保湿化粧水です。 【ピュアープレイン】

ピュアープレインは、お肌はもちろん刺激を受けやすい手などの角質層にバリアを形成して、外部の刺激から皮膚を保護する化粧水。人工血管・人工臓器など医療面でも使用されている安全性に優れたMPC(ポリクオタニウム-51)を原料に使用しています。また、高い吸保湿性を持っており、水分保持効果があります。このうるおいは長時間持続し、10回程度の水洗いに耐えます。(当社テスト結果より) 家事やお料理の場面のほか、病院・施設様のように薬剤を扱われる方にもご利用いただけるように、無香料・無着色・オイルフリー・アルコールフリーです。

◆おむつ診断随時受付中◆

試みとして、会の終了後に施設様同士の情報交換会の場を設けました。発表をいたいたいた白鶴ホーム様、堀切中央病院様を中心としたテーブルの他、いくつのかのテーブルで施設様同士が積極的に意見を交換し合う場面が見られました。地域の施設様が見られました。地元のネットワークづくりの良い良い

第4回のセミナーでは新たな試みとして、会の終了後に施設様同士の情報交換会の場を設けました。発表をいたいたいた白鶴ホーム様、堀切中央病院様を中心としたテーブルの他、いくつのかのテーブルで施設様同士が積極的に意見を交換し合う場面が見られました。地元のネットワークづくりの良い良い

きつかけになつたのではないでしょ
うか。

白十字ではDケアシステムを開催のほか、様々な取り組みを通じ、今後も各地でのセミナーを開催してまいります。よりお役に立てる場をご提供するために施設・病院の皆様のご意見が必要です。ぜひ当社担当セールスを通じて「意見・ご要望等をお寄せください。今後に役立ててい
きたいと思います。

交流会での情報交換会



職員の意識向上と ケア環境の充実

堀切中央病院様

「職員の意識向上とケア環境の充実」をテーマにしたものでした。

堀切中央病院様には、以前より白十字製品をご愛用いただいていましたが、1つの紙おむつに1つのパッドという一律の商品アイテムだつたため、管理はしやすいが作業性・排泄環境に不満とのお声をいただいており、改めておむつ診断を泊まり込みで実施し、患者様の状態に合わせた交換サイクルと組み合わせバターンの最適化をご提案いたしました。

おむつ診断を実施する中で、ふだん「排尿が多い人」と感覚的に認識していた患者さんが、実際にどの程度排尿があるのかを知り、データをとることの重要性を理解いただけたようでした。

堀切中央病院様では当社の「 提案後、自発的に「排泄ケアカン ファレンス」を立ち上げられ、定期的に排泄ケアについての意見 交換を行っているそうです。患者 さんは、排泄ケア環境の改善を 肌で実感している様子とのお話 に、職員の皆さんの意識向上がダイ レクトに質の向上につながつて いる状況が伝わづきました。

発表のポイント

・職員の意識向上

・ケアの質の向上
(交換サイクルの見直しの結果)
・コストダウン

Dケア
トピックス

お肌を刺激から守る、安心で優しい保湿化粧水です。

【ピュアープレイン】

ピュアープレインは、お肌はもちろん刺激を受けやすい手などの角質層にバリアを形成して、外部の刺激から皮膚を保護する化粧水。人工血管・人工臓器など医療面でも使用されている安全性に優れたMPC(ポリクオタニウム-51)を原料に使用しています。また、高い吸保湿性を持っており、水分保持効果があります。このうるおいは長時間持続し、10回程度の水洗いに耐えます。(当社テスト結果より) 家事やお料理の場面のほか、病院・施設様のように薬剤を扱われる方にもご利用いただけるように、無香料・無着色・オイルフリー・アルコールフリーです。

貴施設の状況に応じた「排泄ケアプラン」をご提案いたします。詳しくは当社セールスまでお問い合わせください。

ワンポイントアドバイス

通勤時間や買い物の行き帰りを活用して、ウォーキング健康づくりを始めましょう。

歩くことは最も基本的な運動です。歩くことで全身の筋肉のなんと8割を鍛えることができ、心臓や肺の機能アップにつながります。足腰の強化はもちろんのこと、成人病や肥満の防止、ストレス解消などさまざまな効果が期待できるのです。

正しい姿勢と歩き方

- 正しい姿勢を意識しながら歩くことで、より効果は上がります。

- 1 肩まで引き上げるように背筋と腰をまっすぐ伸ばし、おなかの筋肉を引き締めるようにする。
- 2 からだをやや前傾させ、あごを軽く引く。
- 3 まっすぐ前を見る。目線は10~15m先を見る。
- 4 速歩や急歩のときはひじを90度に曲げ、コンパクトに振ると自然に歩幅も広がる。
- 5 かかとで着地して、つま先で蹴る。



運動効果を高めるためのコツ

- 心肺機能を高めるには一定時間、一定期間の持続が必要です。

- 1 回15分以上、持続して歩く。(2km~3km程度)
- 2 足のリズムに合わせて呼吸する。
- 3 週3日くらいのペースから始める。
- 4 気分や体調の悪い時は無理せず休む。

こんにちは

この度、ロケアシステムの導入第一号施設である、埼玉県坂戸市大字新堀1番地1の「特別養護老人ホームシャロームガーデン坂戸」様におじゃまして、白十字へのご意見やご要望等をお伺いいたしました。



右から 中野様・久場主任様
弊社セールス 篠原

弊社がご提案を行った頃、埼玉県では布おむつに対する助成制度がなくなる時期で、シャロームガーデン様でも、紙おむつの導入をめぐって各社からの商品提案を受けていたそうです。そんな中いくつかの商品を検討した結果、弊社製品をお選びいただきました。その決め手は商品にご満足いただいたことと、あて方の指導から泊まり込みでの尿量チェック、最適な交換バターンのご提案を行う「おむつ診断」の実施にあったとのこと。

「交換回数も削減でき、外出など様々なケアに時間を割けるよう

になったことが大きいですね」と久場主任様。第1回Dケアセミナーにもご参加いただき、スタッフの皆さんも熱心に排泄ケアについて研究をされているようです。

施設概要

特別養護老人ホーム
シャロームガーデン坂戸
所在地:埼玉県坂戸市大字新堀1番地1
定員:50名
平均要介護度:約3.5

弊社がご提案を行った頃、埼玉県では布おむつに対する助成制度がなくなる時期で、シャロームガーデン様でも、紙おむつの導入をめぐって各社からの商品提案を受けていたそうです。そんな中いくつかの商品を検討した結果、弊社製品をお選びいただきました。その決め手は商品にご満足いただいたことと、あて方の指導から泊まり込みでの尿量チェック、最適な交換バターンのご提案を行う「おむつ診断」の実施にあったとのこと。

「交換回数も削減でき、外出など様々なケアに時間を割けるよう

になったことが大きいですね」と久場主任様。第1回Dケアセミナーにもご参加いただき、スタッフの皆さんも熱心に排泄ケアについて研究をされているようです。

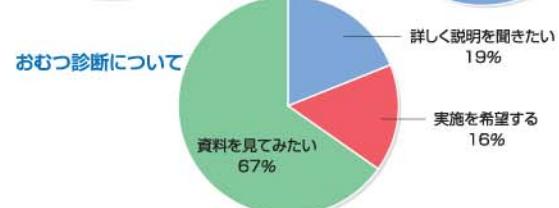
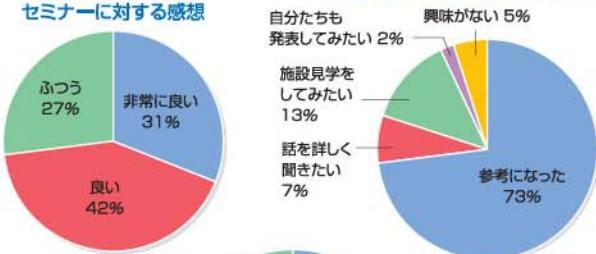


ご好評いただいている！ Dケアセミナー

すでに第4回を数えるDケアセミナーですが、回を重ねるごとに内容も充実し、反響も少しずつ大きくなってきています。より興味を持っていただけの内容になってきていると、スタッフ一同実感しています。ご参加いただいた皆様も、おハガキでご意見・ご感想などをぜひお寄せください。

●第2~4回までのアンケート結果より

施設様による事例発表について



お問い合わせ・お便りは――

〒171-0033
東京都豊島区高田2-4-25
TEL 03-3987-6117

白十字株式会社
「D-wing」編集部まで

ご意見ご要望などはぜひ
お気軽に寄せください。

お気軽に情報が求められて
いるのかを痛感し、我々も常
に新しい情報を発信し続
けていこうと思いを新たに
しています。

タップの皆様も常に真剣で、
いかに情報が求められて
いるのかを痛感し、我々も常
に新しい情報を発信し続
けていこうと思いを新たに
しています。

早いものでDケアセミナ
ーは4回目を迎え、D
wingも第2号を刊行
することができました。第
4回のセミナーでは施設様
同士の情報交換会を開催
し、施設間の情報共有につ
いての新しい試みができた
のではないかと思います。

編集部より